

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

【基本的な事項】

- 期待レベルが「基本」の項目(黄色マーク項目)は、必須記載項目です。
- 期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	平等の判断基準と個人を尊重する働き方を実施し、定期的に代表が個人の意見をヒアリングし健全な職場環境の構築に努めている					○			○		○						○	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記し、相談窓口も設置している。						○			○								○
	【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	時間外労働については1日2時間を超えるものを認めておらず、法定休日の労働も月に2日までと労働組合と協定を結んでいる。									○								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	雇用条件に人種の制限はなく、外国人労働者への差別や人権侵害はない。				○					○		○						
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	職場の整理整頓に心がけ、作業中に事故が起きないよう目配りと啓発に努めている。			○						○								
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	毎日休憩時に経営者と従業員のコミュニケーションを図れる機会を作っており、相談しやすい環境作りを心掛けている。（相談窓口の設置と周知もされている）		○															
	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	高齢となつても本人の意向とパフォーマンスに合わせて契約を継続している。その際も体力に合わせた労働時間の見直しを相談して決めている。手話のできる職員を配置しており聴覚障害者の雇用も可能。				○					○		○						
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	・労働安全衛生法を遵守し、毎年全社員が健康診断を受診している			○						○								
	【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	社内製品がどのように顧客から喜ばれているのか、取扱店や展示会への参加や見学を定期的にしている				○					○	○							
	【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	地域にある複数の障がい者就労支援事業所に仕事を発注しているが、一般的な外注加工所と同額の賃金で契約している。									○		○						

11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	織物製造時に出る生地や糸を廃棄せず、新製品開発に利用し新たな価値を生み出している。より無駄を出さない製造計画をたて、キズを作らない織り技術の研鑽に努める。						○	○	○	
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	工場内の照明をLEDに変え消費電力を抑え、環境に配慮している					○				○
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	ガソリン車からハイブリッド車に変更するなど、温室効果ガス削減を進めている				○			○	○	
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	環境に関連する法規制・条例、製品含有化学物質に関する法規制等を遵守するとともに、環境負荷物質の使用を禁止している。また機械設備導入時、当該機械設備が有害物質を排出するものでないか確認した		○		○			○	○	
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	水質汚濁防止法、オゾン層保護法を順守し自然保護に努め、生態系維持に努めている				○					○
16	環境	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境				○					
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境			○		○	○		○	○
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	廃棄物削減についての活動を自社HP上で開示している							○	
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	太陽光パネルの設置準備が進行中				○			○	
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境								○	○
21		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境				○			○	○	○
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	汚職・贈収賄防止に関する条項を社内に掲示、周知徹底している								○
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	不正競争行為に関する条項を社内に掲示、周知徹底している								○
24	公正な 事業慣 行	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	特許、意匠、商標の取得と管理をしている				○	○			
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	担当者をひとりに決め、セキュリティーをかけ管理している								○
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会									○
27		【人権／労働】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスマント・汚職・贈収賄防止）のための取組を実践している	応用	社会				○		○	○	○	○

28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	商品への異物混入を防ぐため検針機を使用している。			○								○			
29	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	使用している糸や製品等を公共検査機関に検査に出し、品質管理に努めている										○				
30	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境						○					○	○	○	○	
31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	障がいの有無や性別、年齢にかかわらず使用できるユニバーサルデザインの商品の開発	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	工場の稼働時間に留意し、近隣への配慮をしている。				○					○	○	○	○	○	○
社会貢献・地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	障がい者就労支援事業所へ仕事を継続して依頼し活動を支援している。寄付金付き商品を開発し、その売り上げの一部をフードバンクへ寄付することで生活困窮者への食糧支援に参加している。				○					○	○	○	○	○	
	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済							○	○		○	○				
35	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	就業規程に法令遵守について明記されており、社内に掲示、周知徹底している														○
36	【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	自社HPでの活動の開示ならびに活動進捗を社内に掲示している。						○	○							○
37	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	定期的な従業員との個別面談の時に法令遵守についても確認している。														○
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	社労士を月に一度顧問として相談しながら進めている														○
39	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	社労士との毎月の面談の際、リスクに関する最新情報の取得と自社の現状の振り返り、懸案事項については対策を相談し講じている。													○	
40	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会	障がい者就労支援B型事業所への継続した仕事の依頼により工賃向上に寄与したいと考えている。また、フードバンクへの継続した寄付で貧困家庭の食糧支援への参加をしている。													○	
41	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会															○ ○
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済										○	○	○			○

【その他独自に行っている取組】